

弁理士法人サトー

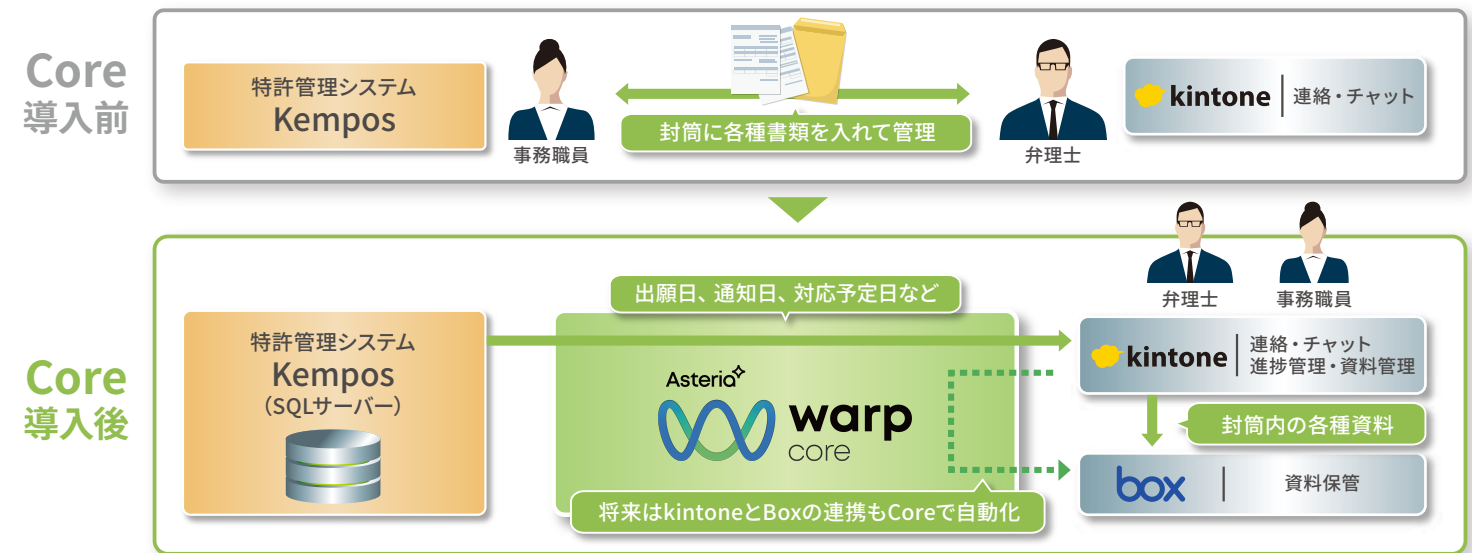
特許申請業務を弁理士自らがノーコードでデジタル化

慣習的な紙の業務をペーパーレス化!テレワークを推進

弁理士法人サトーは1968年に創業した弁理士法人。2000年頃から特許管理システムKempos (SQLサーバー) を利用し、特許申請などの一部業務はデジタル化していたが、事務職員と弁理士の情報伝達は慣習的に紙で行っていた。紙のやりとりではテレワークができないため、デジタル化に向けてkintoneを導入。しかし特許管理システムとkintoneのデータ連携ができず、転記作業などの新たな業務負荷の発生が懸念された。そこで、ノーコードデータ連携ツール「ASTERIA Warp Core」を導入。3か月でデータ連携を実現し、ほとんどの知財業務をデジタル化した。現在、業務に必要な各種資料はBoxに保存し管理しているため、今後はBoxとのデータ連携もCoreで実現し、知財業務のさらなる自動化・効率化を目指している。

課題・目的	選定ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍の影響で必要性に迫られてテレワークを実施したが、紙の案件管理表や進捗管理表は出社しないと確認できず、業務が滞ることがあった ■ デジタル化に向けてkintoneを導入したが、特許管理システムとの連携が困難で手作業でデータを同期する必要があり、事務負荷の増大が懸念された ■ 初期開発費用を抑えるため、システム開発経験がない弁理士自らの内製で運用できるノーコードツールが求められた 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザーインターフェースがわかりやすく、直感的に使うことが可能 ■ SQLサーバーやkintone、Boxなどと簡単に接続できる専用アダプターや、各種テンプレートなどが豊富 ■ 疑問点にすぐ回答してくれる手厚いサポート ■ 使い方紹介動画など学習用コンテンツの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連携処理開発を弁理士が完全内製化。プログラミングの専門知識がなくてもスムーズに導入でき、トラブルなく日々運用している ■ 事務工数ゼロで特許管理システムとkintoneを同期。弁理士は案件の進捗が一目でわかるようになり、業務効率が大幅に向上した ■ 案件の発生や進捗が、自宅からでもほぼリアルタイムに確認できるようになった

システム概要



ユーザーのひと言



kintone導入前に知財業務のデジタル化に向けた自社開発に取り組んでおり、社外SEに開発作業を委託していました。しかしそのSEが体調不良で仕事を辞めた結果、その開発が頓挫。この経験から、外部委託を行わずにノーコードで内製化することが必須だと、身に染みて感じていました。Coreやkintoneはノーコードツールで直感的に使いやすく、内製化するには最適なツールです。動画コンテンツも充実しているため学習しやすく、導入から運用までスムーズに進めることができました。

所長 弁理士 南島 昇 様

User Profile



所在地：愛知県名古屋市中区栄四丁目6番地15号
フォーティーンビルズセンタービル8階
会社概要：日本及び外国への特許、実用新案、意匠、商標の出願代理等
業種：弁理士法人
URL：https://www.sat-patent.com/